

| 科目名 | 歴史 | 英語科目名 | Historical Studies |
|---|--|-------------------|--------------------|
| 開講年度・学期 | 平成 27 年度・通年 | 対象学科・専攻・学年 | 3 年 全学科 |
| 授業形態 | 講義 | 必修 or 選択 | 必修 |
| 単位数 | 2 単位 | 単位種類 | 履修単位 60h |
| 担当教員 | 酒入陽子 | 居室（もしくは所属） | 管理棟 3 階 |
| 電話 | 内線 173 | E-mail | Ysakairi@小山高専のドメイン |
| 授業の到達目標 | 授業到達目標との対応 | | |
| | 小山高専の教育方針 | 学習・教育到達目標 (JABEE) | JABEE 基準 |
| 1. 過去の歴史をまなぶことにより、現代の社会を客観的、相対的にとらえ熟考できる。 | ① | | |
| 2. 日本近現代史の流れを正しく説明できる。 | ① | | |
| 各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法 | | | |
| 到達目標 1-2: 中間試験および定期試験において 60%以上の得点により達成とする | | | |
| 到達目標 1-2: 課題に対する提出物、授業での報告や発言内容を、客観的・論理性で評価する | | | |
| 評価方法 | | | |
| 次の 2 項目の加重平均により評価する | | | |
| 1. 前期後期それぞれの中間試験および定期試験の成績: 80% | | | |
| 2. 提出物の成績、および授業中の報告や発言、授業態度: 20% | | | |
| 試験での教科書、参考書、ノートおよびそれらのコピーの持ちこみは不可とする。 | | | |
| 授業内容 | | | |
| <p>A. 日本の歴史のうち、「近現代史」を中心に、授業をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション — 歴史と現代社会 — 2. ベリー来航の衝撃 — 鎖国と開国、および鎖国以前の社会 — 3. 幕末の貿易と混乱 4. 尊王攘夷と公武合体 — そして討幕 5. 大政奉還と王政復古 6. 明治維新と文明開化 — 後発国の近代化 — ... (中間試験) ... 7. 明治政府の外交 — 岩倉使節団と征韓論 — 8. 前近代の世界観 — 中華思想と華夷秩序 — 9. 近代国家と国境 — アジアとの外交 10. 日本の中の異国 — 琉球・アイヌ・小笠原 — 11. 立憲体制への道 — 国会開設と憲法 — ... (定期試験) ... 12. 帝国主義の時代 13. 日清・日露戦争 14. 第一次世界大戦 15. 第一次世界大戦後の世界 — 平和と国際協調とデモクラシー — 16. 軍の台頭 — 満州事変・日中戦争 — 17. アジア・太平洋戦争 18. 冷戦と日本 ... (定期試験) ... <p>B. 核と人類 — 技術者の役割を歴史から考える～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 原爆使用と歴史認識 — 原爆投下をめぐる歴史認識 被害と加害 2. 冷戦と核開発競争 3. 戦争責任と戦後責任 4. 核の平和利用 — 原発と原発事故 — ... (中間試験) ... | | | |
| ※ 上記の内容を適宜取り上げていく予定。 | | | |
| キーワード | 近代 国家 戦争 冷戦 核 歴史認識 | | |
| 教科書 | 第一学習社『日本史A』、歴史冊子「高専生のための歴史学」、その他プリント配布 | | |
| 参考書 | 必要に応じて指示する | | |
| カリキュラム中の位置づけ | | | |
| 前年度までの関連科目 | 地理、政治経済 | | |
| 現学年の関連科目 | 倫理社会 | | |
| 次年度以降の関連科目 | 歴史学、哲学、人間と科学 | | |

| |
|--|
| 連絡事項 |
| <ul style="list-style-type: none">・シラバスの変更があった場合は、受講者に対して速やかに通知の上これを行う・歴史を学ぶことは、過去のことがらを知るだけでなく、それが現代社会にどのような影響を及ぼしているかを認識し、自分自身や現代社会を見つめなおすものです。新聞やニュースに、常に注意し現代社会の問題を意識してみてください。 <p style="text-align: center;">“ <u>歴史は、暗記ではない</u> ”</p> |
| シラバス作成年月日 平成 27 年 2 月 23 日 |